

看護学科防災・災害対策マニュアル：資料編

●防災設備

1.防火設備

・消火器

各フロアに5本配置。すべてABC粉末消火器で一般火災，油火災，電気火災に対応している。

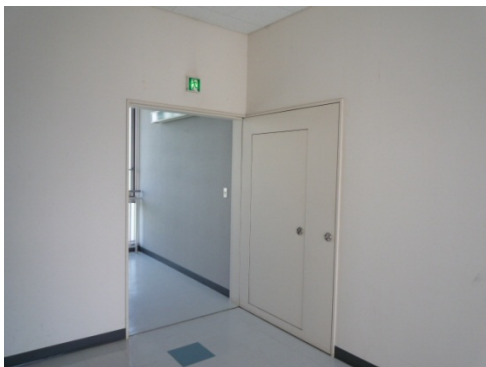
・屋内消火栓

各フロアに3カ所配置。筒先のついたホースを伸ばし，起動ボタン(ベルが鳴るボタン)を押し，バルブを開ければ加圧ポンプが連動して水が出る。2人以上で操作。消火後は必ずバルブを閉めること。



・防火扉

煙感知器で煙が感知されると自動的に作動。手動も可。防火扉は閉まっても必ずエレベーターホール側に開き，防火扉についているドアは階段側に開く。ドアから出入りする場合，躓かないように注意する。日常から，防火扉の前にものを置いておかないこと。



平常時



閉鎖時

つまづき注意！！

・排煙口

2期棟南側非常階段各踊り場と玄関ホールの上部の窓が、排煙口解放装置により開く（煙探知機には連動していない）。近くの壁に排煙口解放装置がある。排煙口解放装置の〔開〕ボタンを強く（かなり強く）押すとハンドルが飛び出して、自動で窓が開く。閉めるときはハンドルを時計回りにまわす。ハンドルが収納されているときは〔開〕をさらに強く押すと出てくる。

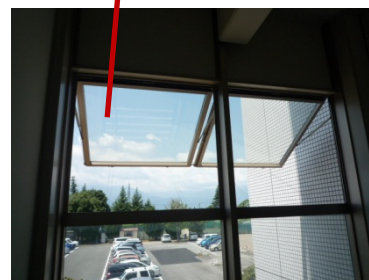
ココを強く押す



ハンドルが飛び出し・・・



窓が開く



ハンドルを左に回すと閉まる



・副受診盤

看護学科内の火災報知機等の副受診盤は看護学科事務室にある。火災報知機が鳴ると防災センターに通報されるが、看護学科内の詳細な場所は通知されず、副受診盤で確認する。

・スプリンクラーは設置されていない。

2.避難誘導設備

・非常放送設備

附属病院とそれ以外で系統が違うが、有事には放送が入る。看護学科内の非常放送設備は看護学科事務室に設置されている。

・誘導灯

緑色の非常口誘導灯及び標識灯が廊下・天井吊下・壁面等に取り付けられている。停電時も内蔵バッテリーで一定時間は点灯している。

3.避難器具

・緩降機

3-6 階に設置。3 階は基礎・成人看護学実習室内，4-6 階はエレベーターホール南側の窓に設置されている。（使用方法は，You Tube 等で確認できる。「ORIRO 緩降機」で検索。）避難の最後の手段として使用する。



平常時



カバーを開けたところ

4.防災用備蓄

ヘルメット 31 個，非常持ち出し袋（大）3 個

非常用持出袋 39 個，非常用ホイッスル 39 個，懐中電灯 39 個，非常用ラジオ 3 個

5.その他

・医療ガス

3～5 階は実習室用の医療ガスの配管があり，廊下に栓がある（防災設備等配置図参照）。
発災時等の初期対応実施時，該当階では必ず栓を閉める。



平常時



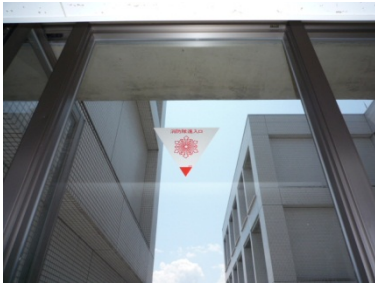
平常時（パネルを取ったところ）



赤いハンドルを手前に回すと閉まる。

・消防隊進入口

3階以上の窓にある。廊下や居室に一定間隔で設置されている。火災時消防隊が進入できるように、進入口の下には物を置かない（動かない棚等は良い）。

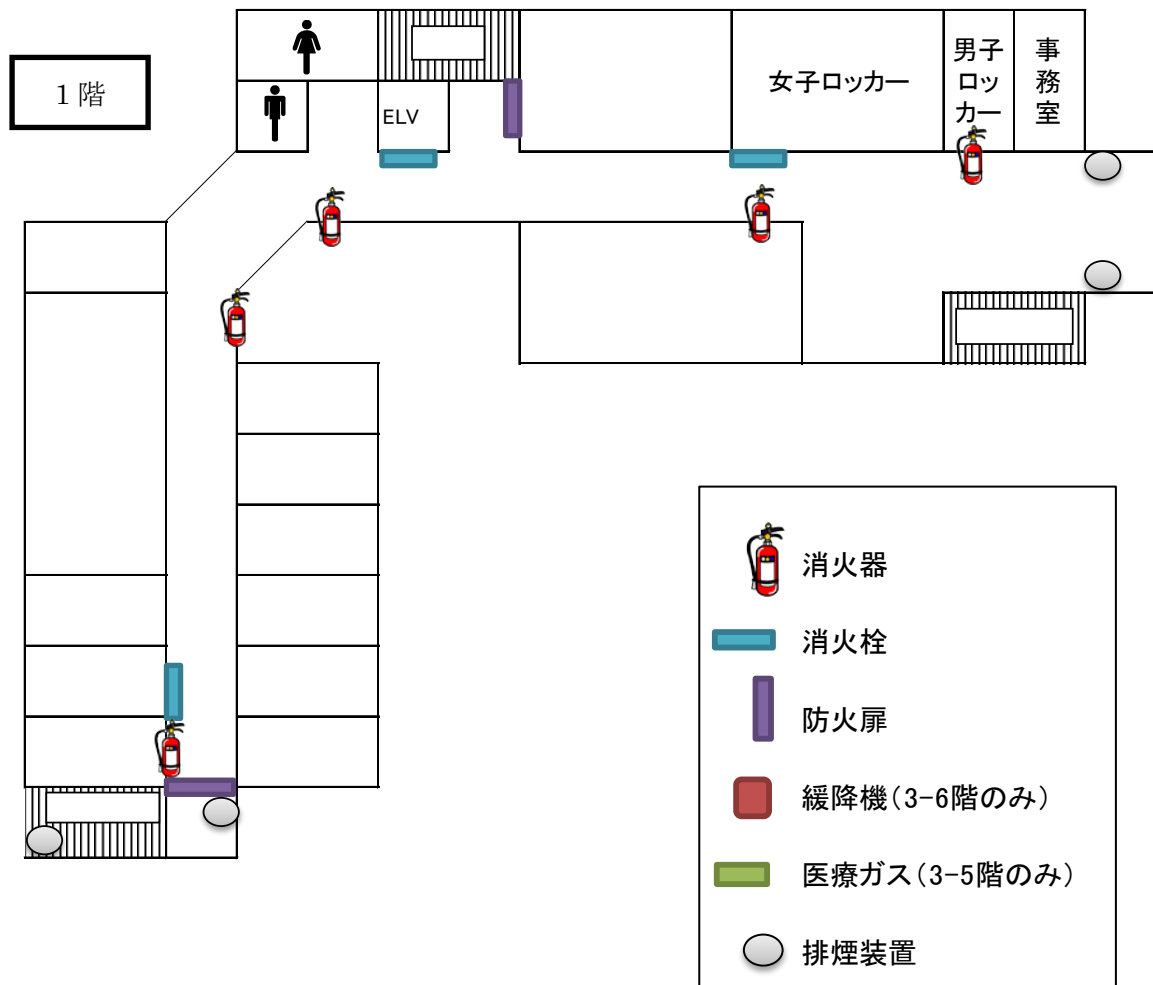


進入口の印



居室内の場合

6.防災設備等配置図





●気象庁震度階級関連解説表

震度階級	人の体感・行動	屋内の状況	屋外の状況
0	人は揺れを感じないが、地震計には記録される。	—	—
1	屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がある。	—	—
2	屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。眠っている人の中には、目を覚ます人もある。	電灯などのつり下げ物が、わずかに揺れる。	—
3	屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。歩いている人の中には、揺れを感じる人もある。眠っている人の大半が、目を覚ます。	棚にある食器類が音を立てることがある。	電線が少し揺れる。
4	ほとんどの人が驚く。歩いている人のほとんどが、揺れを感じる。眠っている人のほとんどが、目を覚ます。	電灯などのつり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。座りの悪い置物が、倒れることがある。	電線が大きく揺れる。自動車を運転していて、揺れに気付く人がいる。
5弱	大半の人が、恐怖を覚え、物につかまらなると感じる。	電灯などのつり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。座りの悪い置物の大半が倒れる。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。電柱が揺れるのがわかる。道路に被害が生じることがある。
5強	大半の人が、物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	棚にある食器類や書棚の本で、落ちるものが増える。テレビが台から落ちることがある。固定していない家具が倒れることがある。	窓ガラスが割れて落ちることがある。補強されていないブロック塀が崩れることがある。据付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。自動車の運転が困難となり、停止する車もある。
6弱	立っていることが困難になる。	固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
6強	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。	固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が多くなる。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。
7		固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物がさらに多くなる。補強されているブロック塀も破損するものがある。

(気象庁, 平成 21 年 3 月 31 日改訂 <http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/shindo/kaisetsu.html>)